

キャリア支援のための 双方向ネットワークシステムの構築

The Configuration of the Bidirectional Network System for Career Support

倉元 博美 有馬 恵子 武田 輝章 霧島 怜 伊佐山 潤子
大重 康雄 園田 美保 有馬 利加子 川戸 理恵子 吉村 圭

Hiromi KURAMOTO, Keiko ARIMA, Teruaki TAKEDA, Rei KIRISHIMA, Junko ISAYAMA
Yasuo OSHIGE, Miho SONODA, Rikako ARIMA, Rieko KAWATO, Kei YOSHIMURA

<あらまし> 本システムは、学外からの求人情報検索や情報収集を可能にし、必要な情報を必要な時に迅速に提供するとともに、教職員が情報を共有することにより、学生指導の連携を強化し、学生支援体制をより効率的で実効性のあるものに改善するために構築した双方向ネットワークシステムである。単なる就職情報の提供のみにとどまらず幅広いコミュニケーションをも目的としている。

<キーワード> 携帯電話、ネットワーク、キャリア支援、コミュニケーション

1. はじめに

日本経済はアメリカのリーマンショックをきっかけに不況が深刻化し、リストラを始め雇用条件の悪化が続いていたが、近年ようやく経済状況が上向こうとしていた矢先に、東日本大震災、原発事故さらに天候不順による災害が頻発し、日本経済は危機的状況に瀕している。

また、近年若者の就職難や早期離職等が社会問題となり、大学や短期大学においては産学官一体となったキャリア教育が行われてきた。にもかかわらず、その状況は改善されていない。

大学等においては、この状況を改善するための一手段としてパソコンや携帯電話を活用した就職支援システムの開発に関する研究¹⁾³⁾や携帯電話を利用した情報提供システムの開発に関する研究²⁾⁵⁾が行われてきた。

しかしながら、パソコンや携帯電話を活用し

た学生支援のための統合的な双方向ネットワークシステムの活用事例はあまり見られない。

そこで、筆者らは単なる情報提供にとどまらず、幅広いコミュニケーションを図り、きめ細かな学生指導・支援の強化を図るための双方向ネットワークシステムの構築を行った。

本システムは、学外からの求人情報検索や情報収集を可能にし、必要な情報を必要な時に迅速に提供するとともに、教職員が情報を共有することにより、学生指導の連携を強化し、学生支援体制をより効率的で実効性のあるものに改善するための双方向ネットワークシステムである。また、単なる情報提供にとどまらず幅広いコミュニケーションをも目的としている。

さらに、現有の教務・学生システムと連携を図り、必要な情報は毎日最新の情報に更新され、就職支援のみにとどまらず幅広い学生支援を可

能としたシステムとなっている。(図1)

平成21年度は、①学外からの求人情報検索や諸情報収集を可能にし、必要な情報を必要な時に迅速に提供する体制を整える。②教職員が情報を共有することにより、学生指導の連携を強化し、学生支援体制(就職活動支援や履修指導等を含む)をより効率的で実効性のあるものに改善する。③学生の就職意識の高揚を図る、ことを目指した。

平成22年度は、教員が学生支援に必要な情報を研究室から閲覧できるようにし、学生支援・指導の充実と効率化を図ることとした。

本稿では、そのシステムの構成と概要について報告する。

2. システム構成

本学では、以前より事務LAN(成績管理、学生管理、就職管理等)が構築されていたため、そのデータの有効活用と連携を考慮したシステム構築を行った。システムは、セキュリティを考慮し、インターネット公開用サーバと学内用サーバを新たに導入した。インターネット公開

用サーバは、事業所名・業種・職種・勤務場所等、必要最小限の情報のみとし、学内用サーバは就職に関する詳細情報や学生支援に必要な学生データを事務LANからコピーし、利用するように設計している(図2)。なお、学内用サーバはファイアウォールで学外からはアクセスできないようになっている。

3. システムの設計と構築

3-1 就職支援システム

3-1-1 システムの概要

本学に届いた就職に関する情報をリアルタイムに自宅及び学内のパソコンや携帯電話から取得でき、さらに事前に登録した希望条件に合致した就職情報を携帯電話にメール送信する。また、様々な就職情報や相談をメール交換することにより、学生・教職員間の情報交換等が密に図れるシステムとなっている。(図1)

これにより、就職意識を高揚させるとともに、コミュニケーションの活性化を図り、就職意識を持続させ、よりきめ細かなキャリア支援サポートを行うことを目的としている。

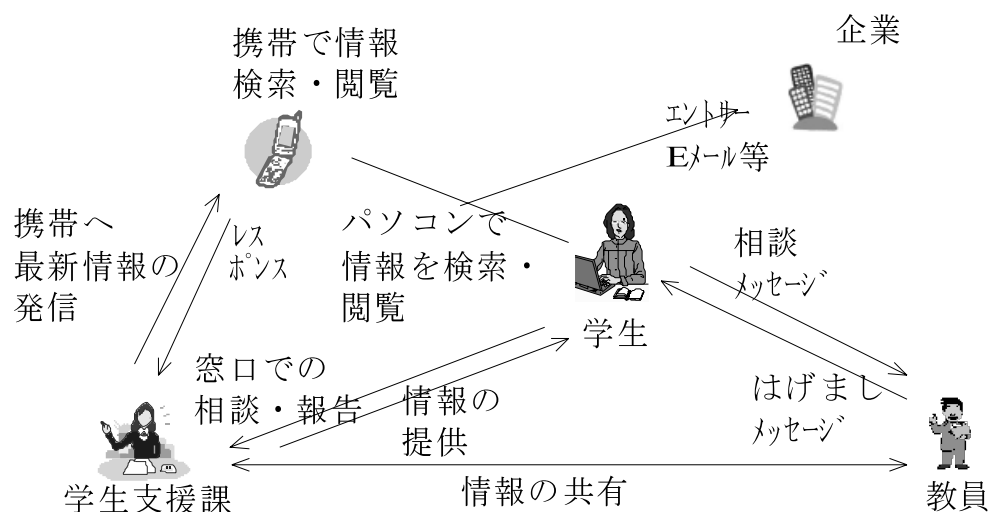


図1 システム概要

3-1-2 システムの機能

①携帯電話での機能

- a お知らせ情報閲覧
- b 就職情報の検索・閲覧
業種，職種，勤務地の条件検索による閲覧
・閲覧内容：事業所名，業種，職種，勤務地，会社締切日，学内締切日，試験日，応募方法。
(詳細は，学生支援課および学内パソコンで確認する.)

閲覧内容を制限した理由は，

- ・通信料が増える.
- ・全ての情報が得られると，短大へ来なくなり，指導・助言ができない.

等の理由からである。(本学ではきめ細かな学生指導をモットーとしている.)

- c 事前に登録した希望条件の求人が届くと携帯電話にメールが送信される.

- d 教職員とのメール相談.
- e 情報の交換や共有のための掲示板
(コミュニケーション広場)

②学内パソコンでの機能

- a 短大からのお知らせ閲覧
- b 就職に関する情報検索・閲覧
求人票項目の全ての項目をプルダウン形式で条件を選択できるように設計し，利用しやすいようになっている。(図5)
- c 受験報告書閲覧
過年度卒業者の受験報告書が検索閲覧できるようになっている.

3-1-3 システム運用上の問題点

システムチェックの段階で，

- ・携帯電話の某メーカーの機種で，パスワードが5桁しか入力できない.
- ・パスワード変更が面倒である。(パスワード変更は学内パソコンのみに限定していた.)

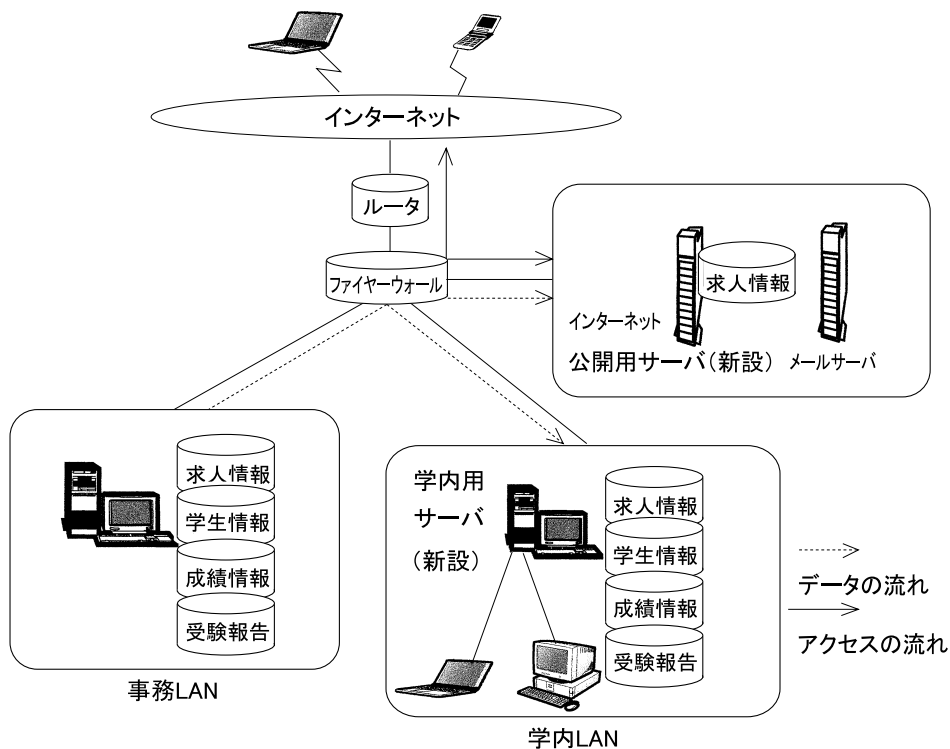


図2 システム構成

・ID の毎回入力が必要である。
等の問題が学生から指摘され、改善を行った。

3-2 学生情報（カルテ）システム

3-2-1 システムの概要

学生の指導や支援に役立つ情報を教職員が共有するシステムを構築することで、学生指導の連携を強化し、学生支援体制（就職活動支援や履修指導等）をより効率的で実効性のあるものにするを目的として、システム作成を行った。

具体的には、学生支援や指導に必要な情報を研究室から閲覧でき、指導状況等をカルテ形式で常時更新し、指導の重複を省く効率的なシステムとなっている。

指導に必要な学生情報や教務情報は事務シス

テムと同期を取り、必要な情報は学生支援サーバに定期的及び必要時にコピーできるようになっている。情報画面は、

- ・就職希望情報（業種・職種・地域）
- ・就職活動状況
- ・学生情報（住所、電話番号、出身校、保護者住所・電話番号）
- ・単位修得状況
- ・メール送信

である。

3-2-2 システムの特徴

本システムの特徴としては、

①必要な学生の情報を迅速にわかりやすく把握できることがあげられる。

具体的には、次のとおりである。

a 検索条件の充実

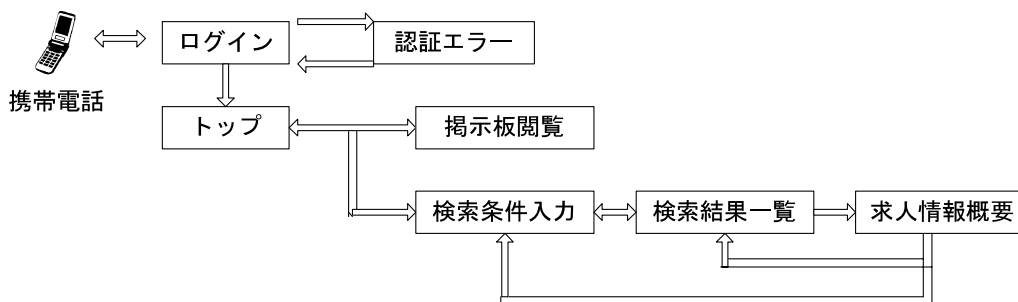


図3 携帯サイト画面概要

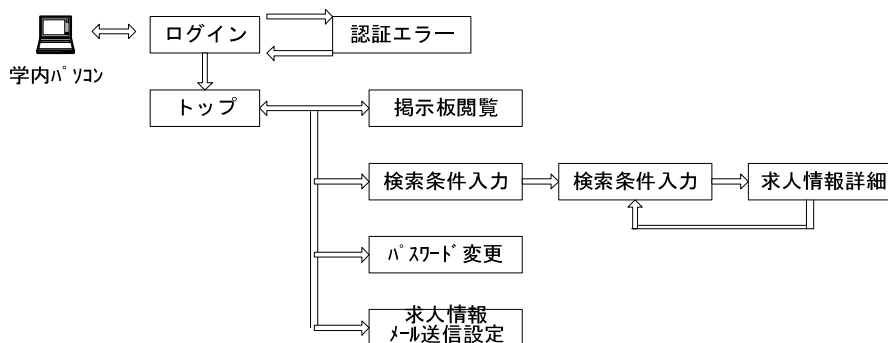


図4 学内WEB サイト画面概要

学科，学年，組，ホーム，番号による検索を始め，学科，学年，組の一覧表から個人検索へも対応できるようになっている。

b 閲覧方法の多様化

それぞれの情報はタブを切り替えて閲覧できることに加え，個人名から各項目へリンクされており，様々な情報閲覧が可能となっている。

c 指導記録を入力・共有する所見機能

面談記録など，学生毎に所見情報を入力し，教職員が情報を共有することにより，学生指導・支援の強化と効率化を図っている。

②個人情報を守る役割権限機能。

情報を閲覧する教職員毎に，閲覧できる内容を制限することが可能である。

3-3 セキュリティ対策

学生情報システムは，個人情報が多く含まれているため，セキュリティ対策は万全を期する必要がある。学生情報システムについては，以下のような対策が取られている。

- ・ 学生情報（カルテ）システムのサーバは，学外からはアクセスできないようになっている。
- ・ ID とパスワードで管理され，さらにログ記録が残るようになっている。
- ・ 印刷機能は付加されていない。

4. システムの利用チェック

システムの利用法について説明を行い，その約2カ月後に「携帯電話，学内パソコンからの求人情報の提供に満足していますか」についてアンケートを実施した。（回答者数：78名）

図6，図7はそのアンケート結果である。

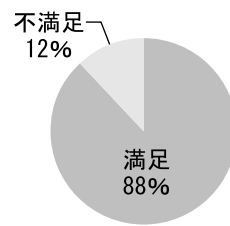


図6 携帯電話からの求人情報の満足度

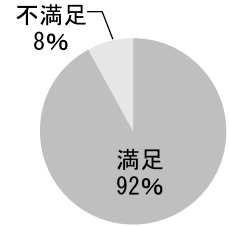


図7 学内パソコンからの求人情報の満足度

図5 求人票検索画面

「携帯電話による情報提供」に関しては88%、「学内パソコンによる情報提供」に関しては92%が、「満足」と答えている。

「不満足」と答えた学生の理由としては、

- ・操作がよくわからない。
- ・パスワード入力面倒。
- ・携帯電話への就職情報メールが希望でないものが含まれている。

(これに関しては、携帯電話への情報メール送信条件が業種・職種・地域と大まかなためである。)

・携帯電話からの閲覧内容が制限(業種・職種・地域・試験日・締切日のみ提供)されている。等があげられている。また、本システムをインターネット上の就職サイトと混同している者もいた。

5. おわりに

本システムは、学生のキャリア支援をサポートする目的で構築を行った。システム作成にあたり行程が遅れたため、求人情報検索サービスや携帯電話への求人情報メールサービスは登録データが完全ではなかったにもかかわらず、殆どが「満足」と答えている。また、学生は携帯電話によるあらゆる情報の提供を望んでいるが(休講情報等)、本学では急を要する情報以外は掲示での連絡を原則としている。

今後の課題としては、システムの活用度をより向上させるために、運用面での改善を図り、満足度を高めていきたい。また、学生一人ひとりが充実した職業人生を送れるよう、個々に応じた支援体制を強化していかなければならないことは言うまでもない。

最後に、本システムは平成21年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム 採択事業、めざそう「平成の篤姫」!

(鹿児島発社会人力養成プログラム)の助成事業の一環として構築したものである。

参考文献

- 1) 西川嘉重, 生田目康子 「パソコンと携帯電話を活用した就職活動支援 web ページの設計」 日本教育工学会大会講演論文集 2008年 第24回 pp.179-180
- 2) 山岡俊章 「携帯電話への休講情報提供・メール配信システムの開発」 日本教育工学会研究報告集 2000年 JET 00-3 pp.31-39
- 3) 葉田善章, 篠原正典, 清水康敬 「携帯電話とPCを用いた共同利用可能な大学情報流通システム」 日本教育工学会大会講演論文集 2005年 第21回 pp.497-498
- 4) 三輪譲二 「パソコンと携帯電話の両方のユーザインタフェースを持つ Web 型試験システム」 日本教育工学会大会講演論文集 2007年 第23回 pp.519-520
- 5) 葉田善章 「携帯電話への情報配信システム K-tai Campus2.0 の活用に関する検討」 日本教育工学会研究報告集 2009年 JSET 09-5 pp.129-134
(2011年12月6日 受理)